2025年6月期 第3四半期 決算説明会資料

キュービーネットホールディングス 株式会社



目次

第3四半期業績サマリー	— Р 3
第3四半期振り返り ――――――	− P4~7
国内事業 ————————————————————————————————————	— P8∼17
海外事業	− P18~24
株主優待について	—P25∼26
Appendix	—P27∼



第3四半期業績サマリー



中期経営計画における当期の位置づけ

成長基盤作りを行う先行投資期間

■ 第3四半期振り返り

	売上収益	■ 新規出店8店舗の寄与に加え、価格改定の前倒し実施も奏功し、売上収益は前年同期比102.0%(上期:101.4%)と堅調に推移■ 価格改定による顧客離れの影響も想定の範囲内
国内	経費	■ 即戦力となる経験者採用は計画をやや下回り、売上原価に計上される人件費が減少する一方、6カ月の研修が必要な育成人財の採用が好調で、研修期間中の人件費が販売管理費として増加■ 上期に前倒しで発生していた新券売機導入経費が、下期に入って減少要因として反映
事業	事業 人財状況 ■ 7	 第3四半期の採用は順調に推移し、育成人財は計画比+7人、経験者採用も+3人と、上期の未達分を補い通期で採用計画を上回る見通し 育成人財は、未経験者・新卒ともに好調で、年間採用数は過去最高の133人となる見込み 退職率も前年同期の7.8%から6.5%へと着実に改善
	出退店状況	■ 第3四半期は新規出店8店舗・閉店2店舗を実施し、累計で純増は9店舗 ■ 第4四半期の出店も順調に進めば、通期で計画通りの22店舗純増を達成する見込み
	売上収益	売上収益は、価格改定を実施した香港と、好調な台湾の成長が牽引し、前年同期比105.9%(上期:104.8%)と堅調に推移2025年1月に香港・米国で実施した価格改定による失客影響は想定を下回る水準で推移。
海外 事業	出退店状況	■ 第3四半期は新規出店3店舗、閉店1店舗を実施し、累計で純増は6店舗■ 第4四半期の出店が予定通り進めば、通期では計画を上回る12店舗の純増となる見込み
	新規国	■ 2025年1月にベトナムで1号店をオープン。今後は、2025年5月にマレーシアで1号店、6月にはカナダで2号店のオープンを予定しており、グローバル展開を着実に進行

第3四半期振り返り



グループ連結業績(第3四半期累計)



- 売上収益は、価格改定と新規出店の効果により前年同期比102.7%(上期累計:102.0%)と堅調に推移
- 第3四半期は国内の経費減と海外の価格改定が寄与し、営業利益は計画を上回り、第3四半期累計での計画との差は64 百万円改善。

	2025年6月期3Q累計		2025年6月期通期予想		
(百万円)	実績	前期比	期初計画	前期比	進捗率
売上収益	18,768	102.7%	25,710	103.8%	73.0%
営業利益	1,051	63.3%	1,900	89.8%	55.3%
税引前利益	902	58.2%	1,750	89.1%	51.5%
当期利益	608	56.4%	1,220	93.7%	49.8%
基本的1株当たり 当期利益	46円33銭		91円70銭		
1株当たり配当額	_		35円00銭		

セグメント情報(第3四半期累計:国内・海外の売上収益・営業利益)



国内事業

- 売上収益は、新規出店14店舗と価格改定の前倒し効果により、前年同期比102.0%(上期:101.4%)と堅調に伸長
- 上期に発生した前倒し経費の減少等の効果により、第3四半期の営業利益は計画を上回り、差異も縮小

海外事業

- 売上収益は、価格改定を実施した香港と好調な台湾が牽引し、前年同期比105.9%(上期:104.8%)と力強く伸長
- 新規国への進出に伴う先行投資により前年同期比で減少したものの、営業利益は計画を上回って推移

■ 売上収益(第3四半期累計)

|営業利益(第3四半期累計)

(百万円)

	連結業績	国内事業	海外事業	調整
当期	18,768	15,156	3,618	▲ 6
計画	18,909	15,286	3,623	
計画比	99.3%	99.1%	99.9%	
前期	18,274	14,860	3,417	▲ 4
前期比	102.7%	102.0%	105.9%	

(百万円)

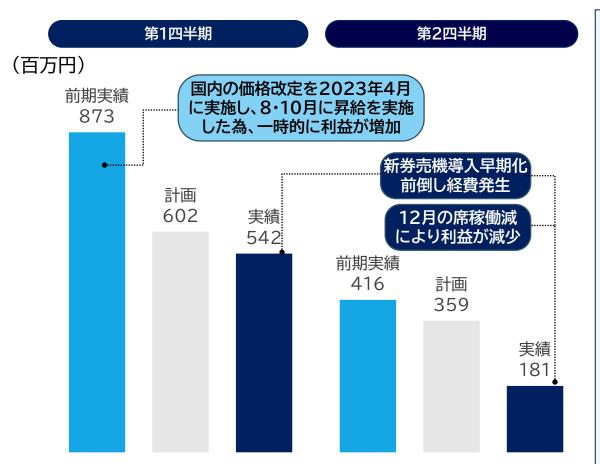
	連結業績	国内事業	海外事業
当期	1,051	962	88
計画	1,225	1,154	71
計画比	85.7%	83.4%	123.8%
前期	1,660	1,544	116
前期比	63.3%	62.3%	76.3%

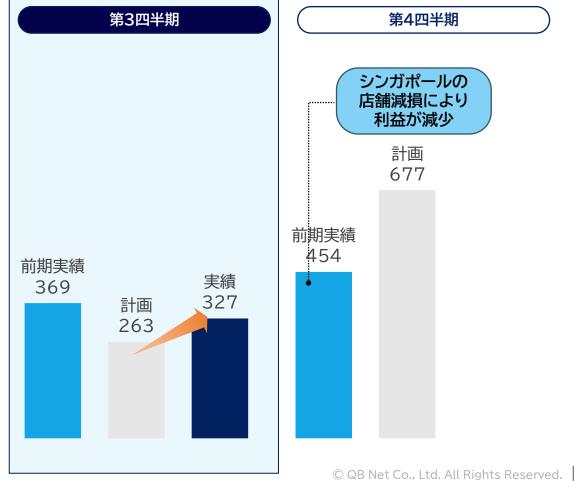
各四半期別営業利益推移



第3四半期営業利益は、計画を上回る

- 国内:価格改定の前倒し実施、経費前倒しによる経費減少効果もあり計画を上回る
- 海外:香港、米国の価格改定効果により計画を上回る





国内事業

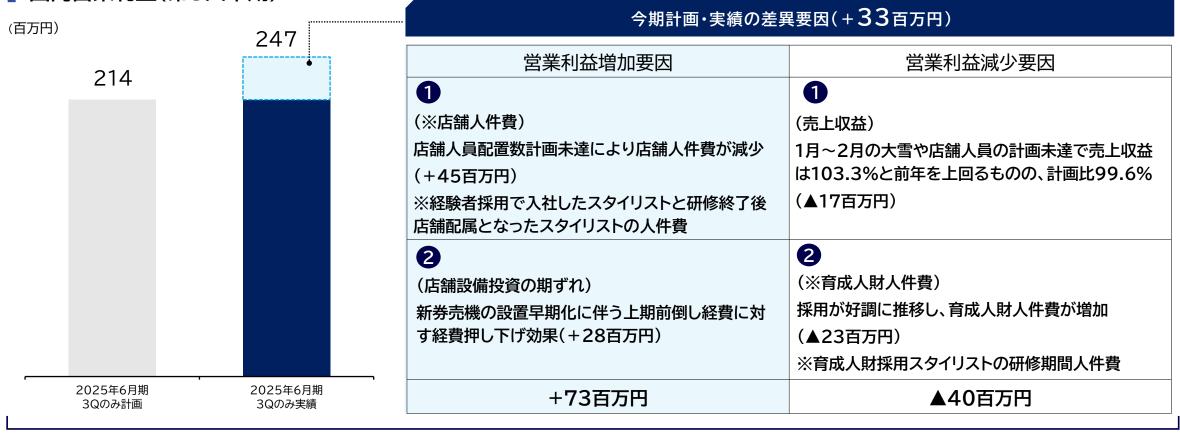


【国内】第3四半期の営業利益の増減内訳(計画比)



- 1.2月の降雪等の影響等はあるものの、前期比103.3%となったが、計画比では99.6%で着地
- 前倒し経費による経費押し下げ効果等により利益は計画を33百万円上回る

■ 国内営業利益(第3四半期)

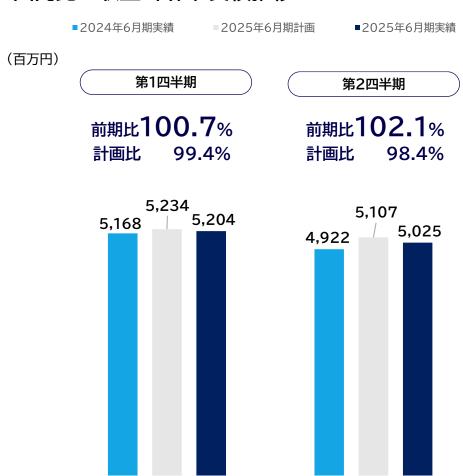


【国内】売上収益



- 第3四半期は新規出店の増加と価格改定の実施が寄与し、売上収益は前年同期比103.3%と堅調に推移(計画比:99.6%)
- 第4四半期は、駅近や商業施設内など高い集客が見込める立地への新規出店が進んでおり増客を見込む

国内売上収益 計画・実績推移



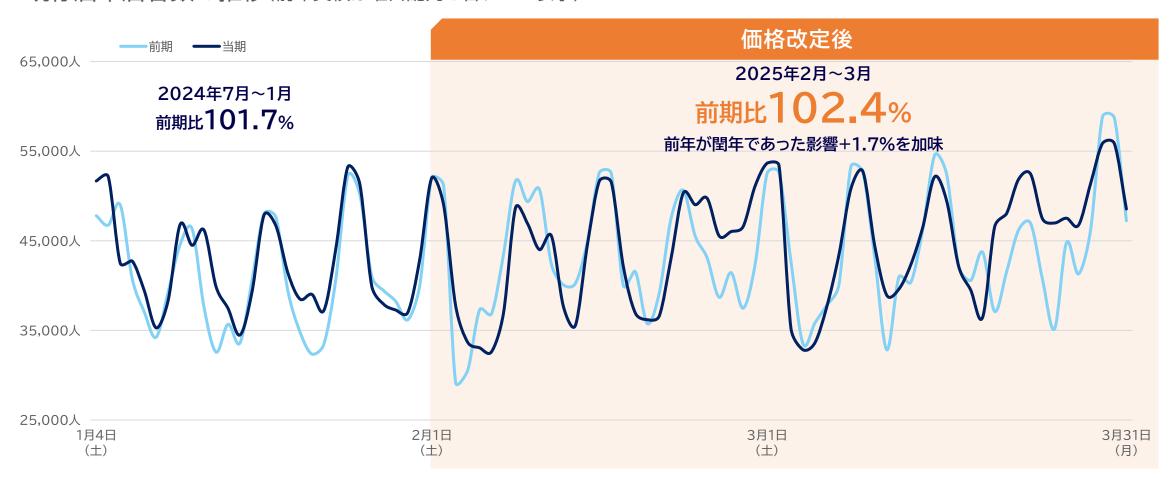


【国内】価格改定後の来店客数推移



■ 価格改定後のお客様のご来店動向に大きな変化はなく、既存店の来店客数前期比は、101.7%(7月~1月)から前年の閏年 を加味した場合102.4%(2月~3月)と失客影響はない

既存店来店客数の推移(前年実績は曜日配列を合わせて表示)



【国内】採用と配属の状況

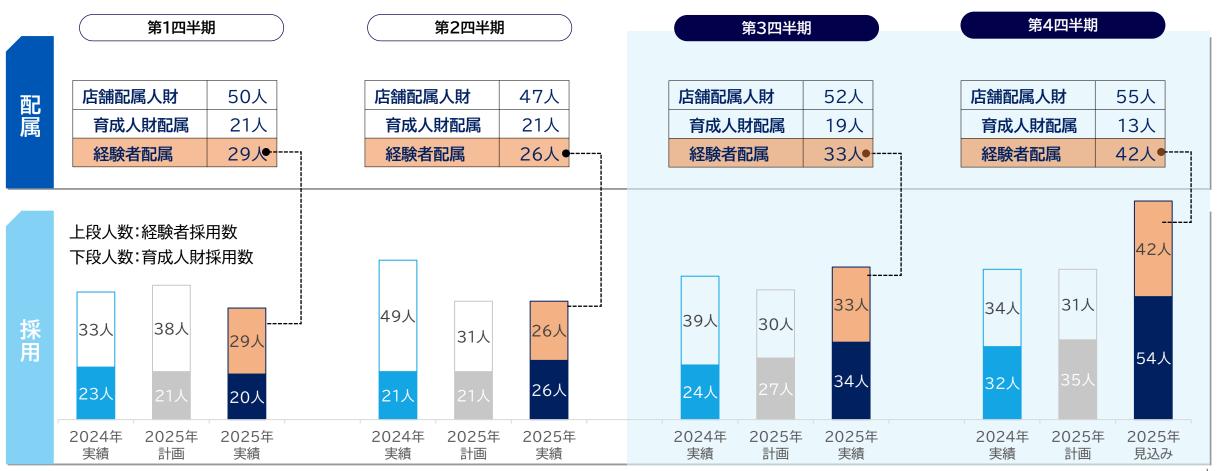


- 第3四半期の採用は好調に推移し、育成人財は計画比+7人、経験者採用も +3人と、計画を上回る
- 第4四半期も経験者採用が堅調に進んでおり、新規出店に必要な人財の確保 も順調に進展

■用語説明

店舗配属人財:当該期間に店舗へ配属された人財

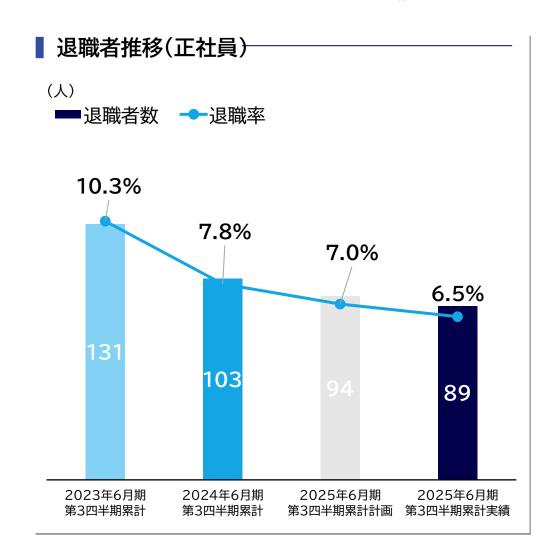
育成人財配属:研修・仮配配属(2ヶ月)が終了し店舗へ配属された人財経験者配属:即戦力として短期間の研修を終了し店舗へ配属された人財

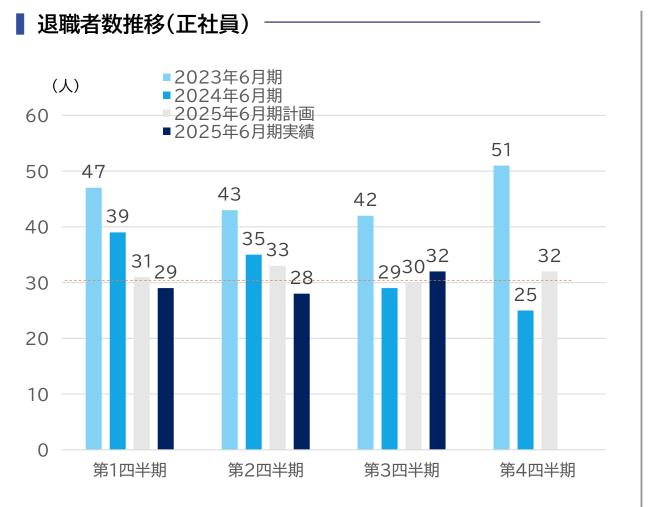


【国内】退職の状況(計画比)



- 退職率は計画を下回る6.5%と引き続き低い水準を維持
- 退職者数も各四半期で30人程度で推移し、人員状況は安定

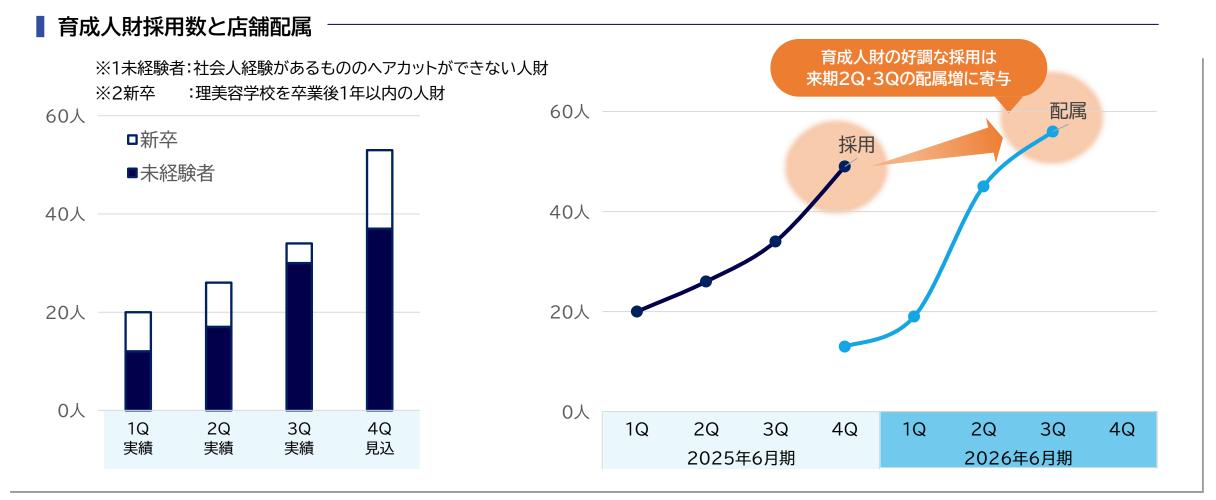




【国内】今後の育成人財の店舗配属見通し



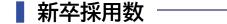
- 第3・第4四半期において、未経験者採用に加え、新卒採用も計画を上回るペースで進捗しており、来期の店舗配属予定人数 は前年を上回る見込み。
- 育成人財の年間採用人数は過去最高であった2024年6月期の100人を上回り133人となる見通し

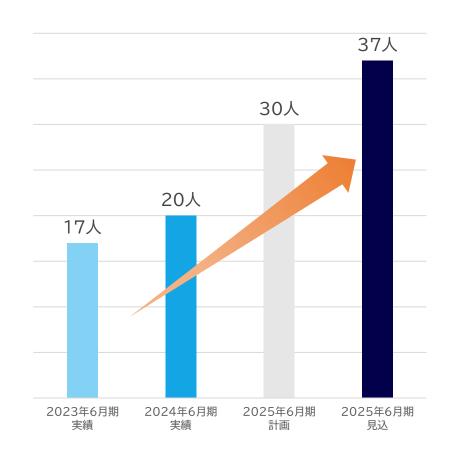


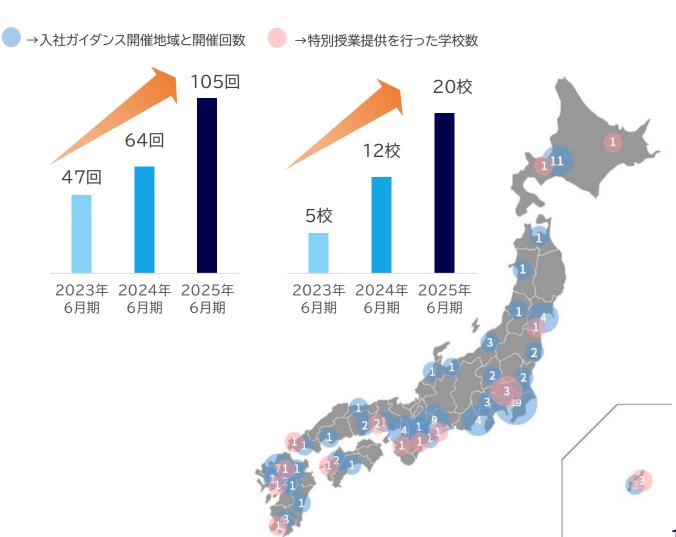
【国内】新卒採用活動



- 2023年6月期より強化している新卒採用は年々増加しており、当期は過去最高となる37人の入社を見込む
- 全国での入社ガイダンス開催や、理美容専門学校への特別授業(カット技術指導)などを通じて、持続的な採用基盤を確立







【国内】今期の出店見通し



- 下期の積極的な出店により当初計画通り22店舗の純増となる見通し
- 第3四半期は新規出店8店舗、閉店2店舗で純増6店舗、第4四半期は13店舗の純増予定しており出店戦略は順調に推移
- 国内事業 2025年6月期出店実績・見込み

1月

2月

3月

	計画	上期実績	下期見込
出店	30店舗	6店舗	23店舗
閉店	△8店舗	△3店舗	△4店舗
純増	22店舗	3店舗	19店舗

清瀬駅北口

KITTE丸の内

町田ジョルナ

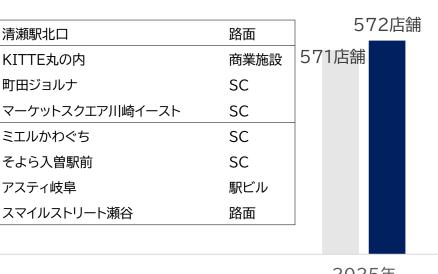
ミエルかわぐち

そよら入曽駅前

スマイルストリート瀬谷

アスティ岐阜

■当初計画 ■月末店舗数



路面 平井駅南口 野田アプラ 商業施設 4月 SC アリオ加古川 SC ヴェルモ志木 南海堺東駅前 駅ビル 札幌市電西8丁目駅前 路面 5月 FaSS 田無アスタ SC フレスポ若葉台EAST SC イオン明石ショッピングセンター SC ※他6店舗出店予定

2024年 12月末

566店舗

565店舗

2025年 3月末

2025年 6月末

585店舗 585店舗

【国内】第3四半期の新規出店店舗



■ 首都圏7店舗、中部1店舗を新たに出店

2025年2月オープン





2025年3月オープン



そよら入曽駅前店 QBHOUSE

2025年1月オープン

:首都圏

:中部











海外事業



【海外】第3四半期の営業利益の増減内訳(計画比)



- 香港での価格改定による失客が想定を下回り、米国での追加改定も大きく貢献。両市場が売上収益を牽引し、第3四半期及 び累計ともに計画を上回る
- 政府補助金の入金遅れという一時的な影響はあったものの、全体としては力強い成長トレンドが持続



【海外】香港の価格改定の状況



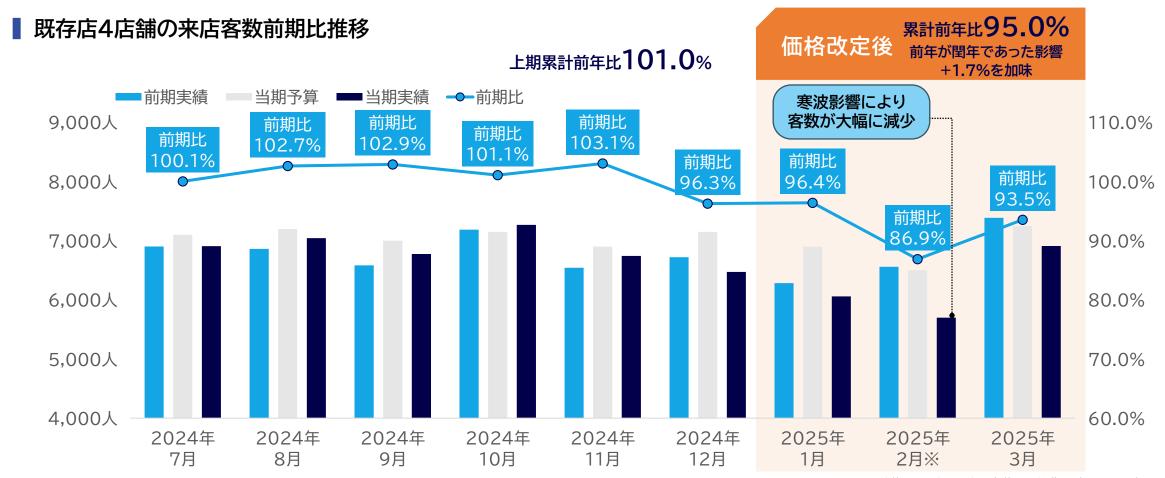
- 2025年1月よりHK\$70からHK\$80へ14.2%アップの価格改定を実施
- 旧正月後の来店動向を注視する必要があるものの、失客は想定を下回る水準で推移



【海外】米国の価格改定の状況



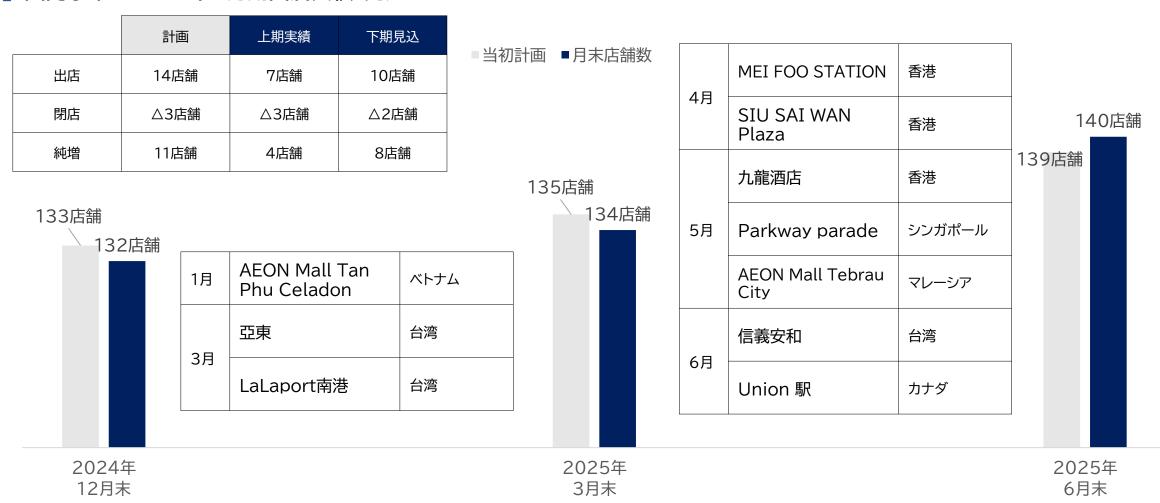
- 2025年1月よりUS\$30からUS\$35へ16.6%アップの価格改定を実施
- 2月の寒波による来店客数の減少影響はあるものの、第3四半期の売上収益計画を6百万円上回る



【海外】今期の出店見通し



- 下期の出店強化により当初計画を上回る12店舗の純増を見込む
- 国内事業 2025年6月期出店実績・見込み



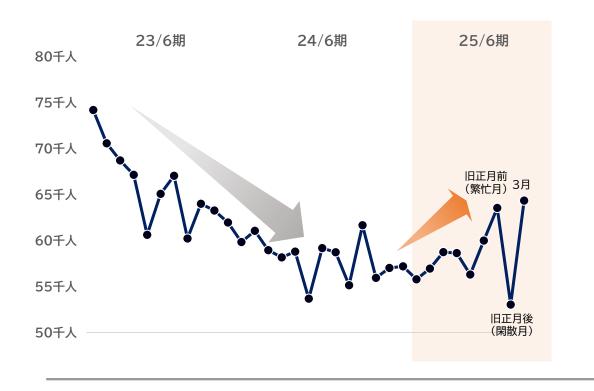
【海外】既存主要国の状況(シンガポール)



- シンガポールの来店客数は今上期に入り下げ止まり、第3四半期から上昇・回復傾向へ
- 個店別の販促実施に加え、QB Premiumへの業態転換や好条件への店舗移転により運営効率改善を進める

来店客数推移

2023年6月期の価格改定以降減少していた来店客数は 下げ止まりから回復へ



■ 黒字化へ向けた施策実施状況

売上向上への営業施策



収益向上への店舗施策

閉店	不採算による店舗閉店 Millenia Walk店 2025年1月閉店
移転	賃料条件の良い立地への移転 City Square Mall店 2024年10月移転
業態転換	QB PREMIUMでの出店による収益向上 Parkway parade店 2025年5月開店

【海外】既存主要国の状況(シンガポール)



- 四半期ごとに着実に改善しており第3四半期累計では黒字に転換
 - 売上収益:来店客数の減少は第1四半期で下げ止まり、第3四半期以降回復し増加傾向へ
 - 経費 :適正人員配置等による効率化向上とコスト見直しによる経費削減を実施
 - 減損影響:前期第4四半期に行った店舗減損により家賃負担が減少(対象店舗の移転やQB PREMIUMへの業態変更を進める)



株主優待について



株主優待制度の新設



株主の皆さまに当社のサービスをご体験いただき、より身近に感じていただくことで、ファン株主として長期的に応援してい ただける関係を築かせていただきたいという考えをもとに株主優待制度を新設。

▍株主優待制度概要

初年度に限り 2025年6月期 2025年6月末日の株主名簿に記載または記録された株主様を対象 ※導入初年度に限り、1年以上の保有条件はなし

1単元(100株)以上~ 3単元(300株)未満	QB HOUSE無料カット券 <mark>1枚</mark>
3単元(300株)以上	QB HOUSE無料カット券 <mark>2枚</mark>

対象者・進呈内容

次回以降 2026年6月期

2026年6月期以降は、決算日末日の株主名簿に記載または記録され、かつ当社 株式を継続して1年以上及び継続して3年以上保有されている株主様を対象

保有条件	1年から3年未満	3年以上
1単元(100株)以上~ 3単元(300株)未満	QB HOUSE無料カット券 <mark>1枚</mark>	QB HOUSE無料カット券 <mark>2枚</mark>
3単元(300株)以上	QB HOUSE無料カット券 <mark>2枚</mark>	QB HOUSE無料カット券 <mark>3枚</mark>

進呈時期

毎年1回、当社定時株主総会後に発送する配当計算書とともに、本株主優待のご案内を同封及び発送

Appendix



【連結】新店・閉店の実績



- 国内:新店14店舗、閉店はデベロッパー都合3店舗、契約満了2店舗
- 海外:新店7店舗、移転3店舗。閉店は移転に伴うもの3店舗、契約満了1店舗

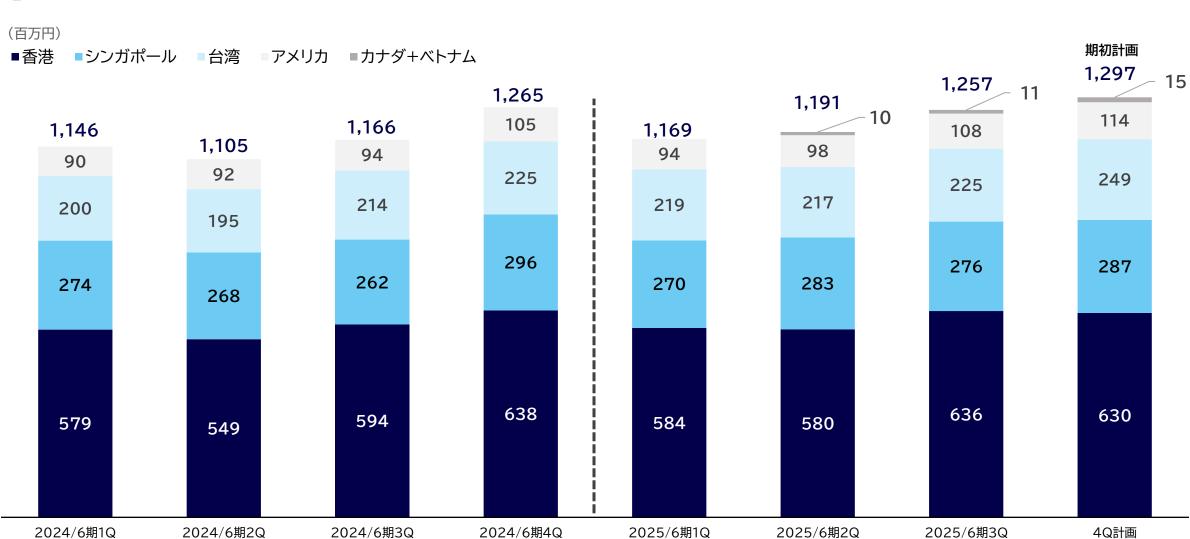
(店舗)	業態	2024/6期末	新店	移転	閉店	増減	第3四半期末
	QB HOUSE	545	14	·	Δ5	9	554
日本	QB PREMIUM	7	0		0	0	7
	FaSS	11	0		0	0	11
国内小計		563	14		Δ5	9	572
	QB HOUSE	19	0	1	Δ2	∆1	18
シンガポール	QB PREMIUM	10	0		0	0	10
	QB HOUSE Kids	1	0		0	0	1
香港	QB HOUSE	59	1		0	1	60
台湾	QB HOUSE	34	3	2	Δ2	3	37
アメリカ	QB HOUSE	5	1		0	1	6
カナダ	QB HOUSE	0	1		0	1	1
ベトナム	QB HOUSE	0	1		0	1	1
海外小計		128	7	3	△4	6	134
連結グループ合計		691	21	3	∆9	15	706

海外売上収益の推移



■ 海外売上収益の推移

※為替影響を含む

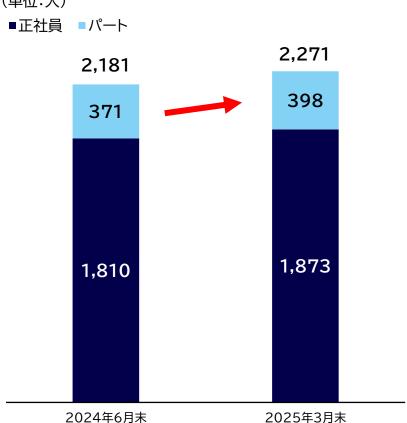


【国内】従業員数と退職率の推移



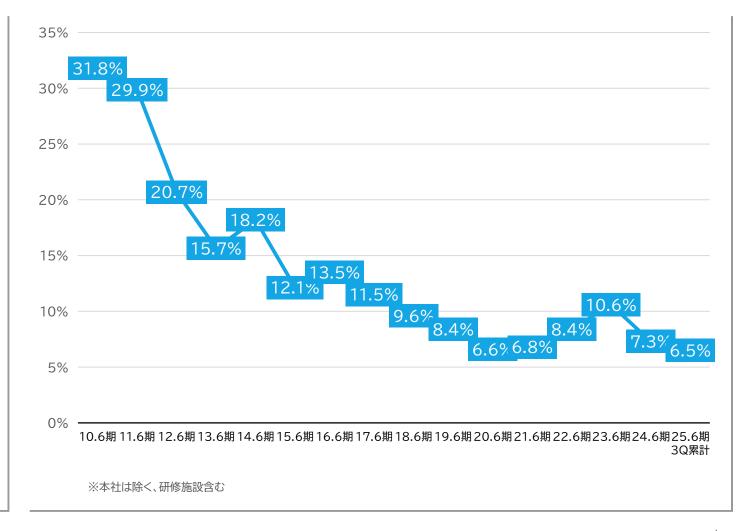
■国内従業員数





- ※本社は除く、研修施設含む
- ※正社員→パート、パート→正社員への変更を含む
- ※業務委託先からの移籍に伴う入社を含む

■ 国内正社員の退職率の推移(年率)



価格改定の過去実績



地		価格改定(税込価格)の実績
国内		·2014年4月: 1,000円 → 1,080円 ·2019年2月: 1,080円 → 1,200円 ·2023年4月: QB HOUSE 1,200円 → 1,350円 QB PREMIUM 1,650円 → 1,800円 FaSS 2,200円 → 2,400円 ·2025年2月: QB HOUSE 1,350円 → 1,400円 QB PREMIUM 1,800円 → 2,000円 FaSS 2,400円 → 2,600円
	シンガポール	·2012年12月: SG\$10(約1,080円) → SG\$12(約1,300円) ·2022年8月: QB PREMIUM SG\$15(約1,620円) → SG\$18(約1,950円) ·2022年10月: QB HOUSE SG\$12(約1,300円) → SG\$14(約1,510円) ·2023年9月: QB HOUSE 男性SG\$14(約1,510円)、女性SG\$18(約1,950円) QB PREMIUM 男性SG\$18(約1,950円)、女性SG\$22(約2,380円)
	香港	·2014年7月: HK\$50(約910円) → HK\$60(約1,100円) ·2019年7月: HK\$60(約1,100円) → HK\$70(約1,280円) ·2025年1月: HK\$70(約1,280円) → HK\$80(約1,460円)
海外	台湾	・2023年1月: 300元(約1,310円) → 350元(約1,530円)
	ニューヨーク	·2020年6月: \$20(約2,840円) → \$23(約3,270円) ·2020年11月: \$23(約3,270円) → \$25(約3,560円) ·2023年1月: \$25(約3,560円) → \$30(約4,270円) ·2025年1月: \$30(約4,270円) → \$35(約4,980円)
	カナダ	·C\$39.55(約4,060円)
	ベトナム	・(10歳以上)メンズ80,000ドン(約440円)、レディース120,000ドン(約660円) ・(10歳未満)メンズ60,000ドン(約330円)、レディース90,000ドン(約490円)

※為替レートは2025年4月17日時点

グループ連結業績概要



■連結損益計算書

	2024年6月期3Q累計		2025年6月期3Q累計			
(百万円)	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	18,274		18,769		495	103%
売上原価	▲ 13,969		▲ 14,749		▲ 780	106%
売上総利益	4,305	24%	4,020	21%	▲ 285	93%
その他の営業収益	42		11		▲ 31	26%
販売費及び一般管理費	▲ 2,661		▲ 2,972		▲ 311	112%
その他の営業費用	▲ 25		4 7		17	30%
営業利益	1,661	9%	1,051	6%	▲ 610	63%
金融収益	18		17		1	96%
金融費用	▲ 127		▲ 166		▲ 38	130%
税引前利益	1,551	8%	902	5%	▲ 649	58%
法人所得税費用	▲ 473		▲ 294		178	62%
当期利益	1,078	6%	608	3%	▲ 470	56%

グループ連結業績概要



■連結財政状態計算書

(百万円)	2024年6月末	2025年3月末	増減額
流動資産合計	6,482	6,385	▲ 96
現金及び現金同等物	4,701	4,730	29
営業債権及びその他の債権	1,398	1,200	▲ 198
棚卸資産	233	149	▲ 83
その他	149	305	156
非流動資産合計	25,814	26,317	503
有形固定資産	1,389	1,465	76
使用権資産	5,933	6,284	351
のれん	15,430	15,430	0
その他の金融資産	1,993	1,997	3
繰延税金資産	799	804	5
その他	268	334	66
資産合計	32,297	32,703	406
負債合計	18,126	18,426	299
営業債務及びその他の債務	280	277	▲ 2
有利子負債	8,214	8,995	780
リース負債	2,611	2,605	4 5
その他	7,020	6,547	▲ 473
資本合計	14,170	14,277	106
負債及び資本合計	32,297	32,703	406

のれんはIFRS(国際会計基準)のため未償却 過去2回の株主変動に伴って生じたもの

新規調達(20億円) 旧コミットメントライン返済 (△6億円) 借入金約定返済

グループ連結業績概要



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2024/6期3Q累計	2025/6期3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,388	2,560	▲ 827
税引前四半期利益	1,551	902	▲ 648
減価償却費及び償却費	2,565	2,640	74
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	▲ 279	145	425
未払費用の増減額(△は減少)	▲ 132	▲ 417	▲ 285
法人所得税の支払額	▲ 620	▲ 706	▲ 86
その他	303	▲ 2	▲ 306
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 530	▲ 1,028	▲ 498
有形固定資産の取得による支出	▲ 540	▲ 834	▲ 293
無形資産の取得による支出	▲ 28	▲ 122	▲ 93
その他	39	▲ 71	▲ 111
フリー・キャッシュ・フロー	2,857	1,532	▲ 1,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,295	▲ 1,358	1,936
短期借入金の返済による支出	▲ 400	▲ 600	▲ 200
長期借入れによる収入	0	2,000	2,000
長期借入金の返済による支出	▲ 625	▲ 625	0
配当金の支払額	▲ 260	▲ 354	▲ 93
リース負債の返済による支出	▲ 2,159	▲ 2,273	▲ 114
その他	150	494	344
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	▲ 145	▲ 216
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	▲ 365	29	394
現金及び現金同等物の当期末残高	4,066	4,730	663

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来 予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を 勘案した上での、当社の現時点における仮定及び 判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、 不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、 不確実性その他の要因により、当社の実際の業績 又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示 又は示唆されている将来の業績又は財務状態から 大きく乖離する可能性があります。









